

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 9月 18日 (13:45~14:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー 森越 泉山 田辺 橋本 島脇 須藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	4人	人	13人

前回の改善計画	課題: 初期支援の体制としては、現状の対応で問題なく支援できていると感じているが、初回利用で気づく追加情報の共有方法やその後の利用でご本人様との関わり方(主に認知症における周辺症状への対応等)に課題が生じる場合が見られた。 計画①: 事前情報のみでは、突発的な本人の行動や心理状況には対応しきれない場合を想定し、ご家族様との情報共有はケアマネジャーだけでなく、現場スタッフから積極的に取れるよう当日の担当を決める等の体制を構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎日のミーティング時の報告や必要に応じて記録入力を行い、情報共有を行うことが出来ている。又、送迎時などに自宅での様子等確認し、報告できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	3	9	1		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族様とは、送迎時等でも声掛けし些細な事柄でもミーティング等で情報共有を図る様にしている。</li> <li>利用者の変化や気づきの情報をミーティングや記録で随時報告・周知できている。</li> <li>ミーティングや新規の情報(ADLや家族構成等)を通してご本人様の情報を知ることができている。</li> <li>ご本人様とのかかわりの中で配慮すべきところに気づき、ケアにつなげる事ができている。</li> <li>新規の利用者様に限らず、利用者様一人一人に対し、丁寧なご挨拶やご本人様を気に掛ける声掛けを意識してできている。</li> <li>ご家族様への話し方において、通い送り時の近況報告はゆっくり丁寧に話す事意識し、ご家族様の不安のないように伝えることができた。</li> <li>情報共有は、ミーティングや記録を通して出来ている。</li> <li>本人、家族、介護者の必要としている支援については出来ている部分と出来ていない部分があると思う。</li> <li>情報共有、記録に残す等は以前より出来ている。</li> <li>家族への不安を取り除く関係性の配慮が出来ている家族と出来ていない家族がいる。</li> <li>家族からの情報やアセスメントした事を記録に残し情報共有できている。</li> <li>新規の方の生活習慣や性格、好みを把握する為にもコミュニケーションを多くとるようにしている。</li> <li>それぞれの業務内で気づいたことを毎日のミーティング内に報告できていた。</li> <li>当日の担当を決めなくてもその日の出勤職員で新規利用者の対応や関わりを行っており、事前情報以外の事も情報収集出来ていると思う。その事で共有しなくてはいけない事はミーティングで話し合う等の対応も</li> </ul>	

出来ていると思う。

- ・新規利用の際は、利用時の状況を記録に残し情報共有を行なえている。
- ・継続し利用していく中で関わりを持ち新たに知り得た情報などはミーティングなどで話し合う事ができる。
- ・必要であれば、こちらからご家族様やケアマネに相談する事も出来ている。
- ・突発的な本人の行動等には対応出来ていると思う。

できていない点

(200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること)

- ・ご家族とご本人様とのニーズが掴み切れない。
- ・通い送迎時にご家族様とかかわる際、関係づくりの為の声掛けが不足していた。
- ・こちらと家族や介護者との間で考え方の食い違いが生じる事がある。
- ・職員によって私情、感情が出て家族との良い関係性、信頼を得られていない為。
- ・仕事と割り切って対応、判断が必要。
- ・初期支援では家族関係や細かい所までの情報が少なくニーズの把握が出来ていないのでは。
- ・4月からの移動の為、送迎時に会話をするなどして話しやすい雰囲気づくりをしているが、信頼関係はまだ気づけていないと思う。
- ・担当となっている職員の表記が無い
- ・当日の担当を決めると記載あるが出来ていない。

【なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）】

- ・コミュニケーションの在り方について、再考した方がいいのではないか。
- ・ご家族様に遠慮していた為、また、自ら話すことで相手が不快に思わないか等考えてしまう為
- ・こちらと家族や介護者との間で考え方の食い違いが生じる事がある。
- ・次の送迎の時間等で焦っていた為
- ・自分の関係作りが優先になってしまっていたと思う。
- ・当日の担当についての記載が無いため他人事のように感じている所もあったと思う。
- ・個人に担当としての話があっても全体への呼びかけ等ない為関りの時間を多く持っているかわからない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・利用者様を不安にさせないようなコミュニケーション方法をミーティング、職員会議にて情報共有行う。また、利用者ご家族様への声掛けも事業所側から知る姿勢を持ち、ご家族様のおかれている環境や変化に対し対応を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式
------------------

実施日	令和 6年 9月 20日 (13:45~14:00)
-----	----------------------------

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）
-----------------------

メンバー	森越 森山 橋本 泉山 田畑
------	----------------

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8人	5人	人	13人

#### 前回の改善計画

課題：「気づき」があっても、記録に残せていない。現状の業務量では、記録に充てる時間の確保が難しいことが課題として挙がっている。

計画①：ミーティング記録を活用して、本人の自己実現に向けたアプローチについての項目を追加する。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

気づきがあった際は記録入力や申し送り出来ているが、本人の自己実現に繋がっているか不明な状態。ミーティング時などに情報共有し対応は出来ている。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		8	5		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8	5		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？		9	4		13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		10	3		13

#### できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・些細な事でもミーティング等で意見を出し合い、皆で話し合いながら対応している。
- ・日々のケアプランチェックで概ねの各プラン内容の把握ができている。
- ・本人の意向に沿った関わりを持てている。
- ・認知症の方等、自分の気持ちややりたい事を上手く話せない利用者様の想いを汲み取り、ケアに反映することができている。
- ・「気づき」があった際は、ミーティングや記録入力は出来ていると思う。
- ・本人の「ゴール」「～したい」については、わからない部分はあるが、理解しようとし情報共有しながらのケアは出来ていると思う。
- ・利用者の行動を読み取り行えていると思う。
- ・さりげないアプローチを行いしたい事や思いを引き出す事ができている。
- ・ミーティングでの報告はある。
- ・自分が記録の時は気づき等聞かれた場合、記録入力する時間が無くてもメモでもらい変わりに入力する等している。
- ・記録に残す事は出来ている。職員も気づいた点は自ら記録に残してくれている。

#### できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報の必要性を勝手に決めて、意見を出さないことがある。
- ・利用者様のその場の対応、ケアのみでご本人様の目標やニーズの把握やかかわりができていない。
- ・～したいが具体的に解り得ない事もある。
- ・本人とのコミュニケーションが浅く本人の実現した内容の把握が出来ていない為、本人に合わせた関りは出来ていないと思う。
- ・4月からの職員からの発言は少ないようと思える。

- ・職員同士で話してミーティングの場では話す事が出来ていない為、記録に残らない。

【なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）】

- ・自分の考えだけにとどまらず、他の人の意見も尊重するようにすればいいのではないか。
- ・日々のケアを行うことで満足している為。かかわりがあってもコミュニケーションの場が少ないため、利用者様がどうなりたいか、どうしたいかの理解や考えにつながる事ができない為。
- ・気づいた事の発信は出来ていないと思う。（自宅で思い出す等があっても特に情報の発信をした事が無い）
- ・発信した内容で重要と認識できていない為の周りへのアピールが足りない。
- ・報告はあるものの観察内容の徹底性が無い。⇒帰宅前にミーティング内容についての観察後の報告を記録にするなど見える化しても良いかも？

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・利用者とのコミュニケーションは、「～したい」を知り得る為だが、職員間での無駄話もみられている現状にある。その時間を利用して利用者ともっと多くの関りを持つ事で、本人との関りの時間を深めていくよう、職員間での声掛け、環境づくりを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 9月 21日 (13:45~14:00)
3. 日常生活の支援	メンバー 橋本 森山 泉山 鳥嶋 島脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	8人	2人	13人

前回の改善計画	課題:「以前の暮らし方」の把握が全ての利用者にできていない。「気づき」の情報量が少なく、自宅での過ごし方についての把握が出来ていない利用者が多い見られた。 計画①「気づき」の記録を月末にまとめて掲示。プラン作成時に反映できるようケアマネジャーとの情報共有ができるよう体制構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「気づき」の入寮は以前より増えていると思われる。</li> <li>「気づき」の月末掲示は出来ていたが、まとめの掲示を上手く活用することが出来ていないと現状。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	4	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	3	7	3		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?		9	3	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	9	3		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか?	2	10		1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>会話の中などからご本人さまの情報を得ようとし、それをケアに行かせるように情報共有するようにしている。</li> <li>利用者の変化や気づきの情報をミーティングや記録で随時報告・周知できており、状況に合わせた支援を行なえている。</li> <li>ご本人様のADLに合わせた介助ができている。</li> <li>全体的に臨機応変なケア、対応は出来ていると思う。</li> <li>耳が遠い利用者にも筆談等で会話し過去の事を傾聴したり出来ている。</li> <li>家族からの情報や観察により様子や体調の変化に気付く事が出来ている。</li> <li>気づいたことは記録に報告できていた。</li> <li>気付いた点は、担当者に伝える事ができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>忙しさにからめて、会話等のコミュニケーションの時間が取れない。</li> <li>利用者様の自宅での様子や過去の事等を本人や家族から聞くことができない。</li> <li>「以前の暮らし方」10個以上の把握は出来ていないと思う。</li> <li>難聴などにより情報や思いを聞き出せていない部分もある。</li> <li>記録に報告するだけで他への報告や、見守りが必要などの情報共有まで出来ていないと思った。</li> <li>個人で思っている事の全体への共有にむらがある為観察にむらが出ていると思う。</li> </ul>	

- ・気づきの月末提示
- ・最初は月末に記録をまとめて出すことが出来ていたが、担当職員が辞めてからは出来ていない。

【なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）】

- ・個人にさく時間取るのが難しい。
- ・利用者様と1対1でコミュニケーションを取る場がない。ご家族様から聞く関係性まで至っていない。
- ・報告内容があまい為、次の支援に繋がらない。（状態を見た感じ方が大事な事もあると思う）
- ・観察内容にむらがあるように見える為、ミーティングで指定する等確実に情報が集まるようにしてみるのも良いかと思う。
- ・月末にまとめて掲示という点は可能だと思うが、誰が気づきをまとめて掲示するのか、掲示してからどうするのかが良く理解できない。気づきを掲示しなくても、プランの期限が切れる時期になったら担当が記録検索して、問題点の抽出やケアマネとの新プランについての情報共有は出来ると思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・「気づき」の月末掲示は出来ていたが、掲示していても次に生かせていない現状があった。忙しさを理由にせず、利用者一人一人とコミュニケーションを図り、興味のある話題で本人の思いや意向の聞き取りを行っていく。また、日々で援助で気づいたことはミーティングで話し合いし、記録に残していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 9月 22日 (13:45~14:00)
------------------	--------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー 橋本 鳥嶋 向井 須藤
---------------	------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	12人	1人	人	13人

前回の改善計画	課題: いまだコロナの影響が大きく、地域との交流の少なさを実感している。 計画①: 運営推進会議等の場を利用して、地域への発信量を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議を日中開催する事でよりおりあいの雰囲気や現状を知って頂けたと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		10	3		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		12	1		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		11	1	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	4	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングやミーティング等で情報確認・共有できている。</li> <li>事前の情報や利用後得られた情報等で生活スタイル、人間関係等は理解し支援出来ていると思う。</li> <li>利用していない時はどんなことして過ごしているか等は日頃の声掛け、コミュニケーションにて聞き取り行えている。</li> <li>潜在能力を活かす活動やこれまで関わってこられた関係性を理解し支援している。</li> <li>資料作りや内容についても係の人で相談し行っている。</li> <li>運営推進会議資料を見る事で、会議内容などは分かる。</li> <li>運営会議を通して発信する事は出来ていると思う。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様の自宅での過ごし方や地域とのかかわりを把握できていない。話せる機会がない。</li> <li>個々に必要な民生委員や地域資源等の把握は出来ていない。</li> <li>利用者に必要な地域の資源の内容が把握出来ていない為、家族に聞かれても答えられない現状。</li> <li>地域との関りへの減少。</li> <li>地域交流に関しては自分の出来る事はないと思いこんで動いていないと思う。</li> </ul>	

【なぜ?どうして?できていないのか?(その理由)】
・普段の介護ケアや業務をこなすだけで利用者のコミュニケーション機会が少ない。
また、家族とも話せる場が少ない。
・知識不足。
・情報収集、率先して調べ職員間で共有していく。
・周囲の方への挨拶等しているが、その裏側関わり方について思いつかない為その後の行動が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・本人様のより深い情報を知る意味を再度職員間で共有し、支援の根拠になる情報を収集していくよう行動をしていく。内容として、自宅での生活状況、～時にはこんな風にやっていた等のその人らしさを知ることができるとができる情報を、ご本人様、ご家族様へ事業所側から声掛け確認し、その情報をもとに日々の支援に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 9月 23日 (13:45~14:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 泉山 田辺 向井 須藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	5人	1人	13人

前回の改善計画

課題: 地域資源の把握及び実用的な計画がなく、コロナ禍以前のような関りがいまだ回復せずにいる現状である。

計画①: 地域との関わり方について、待っているのではなく、事業所から積極的にアプローチを行っていく。具体的な行動として、年間の計画を立てることや行事担当が主になって行事として関わっていけるよう検討を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナだけではなく、他の感染症などもあり、なかなか難しい状況にある。行事参加の声掛けは地域からあるも、職員の人数や利用者様の状況によって難しい現状がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		8	3	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10		1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	9	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	2	10		1	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・感染対策をしながらの難しい状況だが、その中でも何が出来るか検討しながら行うようにしている。
- ・利用者・家族の状況に応じサービスの提供を行えている。
- ・本人の状態や変化に合わせたケアができる。また、ミーティングで共有し全体で動けている。
- ・地域との関わりについては、コロナ規制が緩和された事から、運営推進会議の開催も再開し、地域行事(公民館文化祭)からの展示依頼を頂き参加出来るようになった。
- ・情報共有しながら、ニーズに合わせた臨機応変な対応・ケアは出来ている。
- ・ご家族や本人の状況に応じ宿泊やスポットの通い受け入れはスムーズに行うことが出来ている。
- ・家族からの要望に沿った対応ができている。
- ・事業所からの地域への積極的なアプローチは出来ていない。
- ・コロナ以前よりは少ないが地域での行事に参加する事が出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・以前のような外部の方々を招いての行事が出来なくて、盛り上がりにかける。
- ・地域へのアプローチできていない。
- ・地域の資源の活用が出来ていない。
- ・自分で出来る範囲でという思い込みが強いと感じる為か、周囲との相談や報告が少ないとと思う。
- ・行事計画時にコロナ等の流行が重なって交流の為の行事が行えていない。
- ・今もコロナ等で問題が多い
- ・以前に比べ地域との関りは相変わらず少ない状況で、日中の職員数も少ないので、中々外出する機会を作るのも難しい状況である為。

【なぜ?どうして?できていないのか?(その理由)】

- ・感染予防の観点から考えると、難しい問題である
- ・人員不足や計画の中に組み込めていない。事業所内で完結している。
- ・行事計画担当ではないからと手伝いの声掛けしていなかった。
- ・流行時でもできる交流の仕方を考えても良いかと思う。
- ・地域からの誘いがあっても、人員的な問題や利用者を連れて行けるか等の問題があり、なかなか積極的に参加出来ていない状況だと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・地域資源として、地域住民、民生委員の方々などの協力を得ていく必要がある。事業所で行う支援は生活のほんの一部であることを理解し、個別、必要な方に対しては、近隣の方に事業所情報を提示していくことで、在宅時の地域見守りを強化できるように行動していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6 年 9 月 24 日 (13:45~14:00)
6. 連携・協働	メンバー 森越 泉山 谷川 須藤 島脇 田畑

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	4人	2人	13人

#### 前回の改善計画

課題：地域イベントの参加がコロナ禍以前にまで回復せずに、事業所からのアプローチも減少している現状にある。必要な介護サービスの提供で業務を行っており、人員を割けるほど充足されていない事も原因に挙げられる。

計画①：地域イベントへの参加を行事として計画していく。主担当を決め、年間の計画を立てていく。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

鮫公民館からお声がけいただき、利用者作品の展示行なうことが出来ているが、以前のような行事の際に地域の方を招き踊りや歌を歌っていただくようなことは出来ていない。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	8	1	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	6	2	1	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		5	6	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		4	6	3	13

#### できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・参加が難しい状況でも、出来る事はないか考えて、少しでも携わる事ができるように努めている。
- ・主任対応で会議等に参加している。
- ・地域との関わりについては、コロナ規制が緩和された事から、地域行事（公民館文化祭）からの展示依頼を頂き参加出来るようになった。
- ・福祉レンタルや利用者家族からの要望に答えられるようにケアマネが連携している。
- ・運営推進会議を定期開催している。
- ・地域文化祭への作品の出品や敬老会では地域の方が訪れている。
- ・会議には必要時毎回参加している。
- ・鮫公民館の文化祭への作品の出展行なう予定。
- ・鮫在住の職員は積極的に活動に参加してくれている。
- ・何とか、職員の数が少ない中、行事へ参加できるものは出来ている。

#### できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・いろいろと感染予防に備えているが、果たしてそれが適切に行われているか不安。
- ・地域イベントに参加出来ていない。
- ・コロナ規制は緩和したとはいえた油断できない状況ではあり、必要最低限の来訪者しか訪れる事が出来ないのが現状である。
- ・気軽に地域の子供や高齢者が立ち寄ることは少ない。
- ・地域の祭りや交流できるようなイベントにはコロナ感染予防の為、参加できていない。
- ・担当に任せきりで自分から手伝いについての声掛けが少ないと感じた。

- ・行事内容として計画がされていない為発信できていない

【なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）】

- ・これまでの、感染した場合の状況を考えると、感染予防に徹した方が安心だと思う。
- ・行事に組み込めていないため、人員不足のため
- ・保育園、小学校との交流が再開しない為。
- ・行事について自分事として担当でなくても声掛けをするように全体で行えると良いと思った。
- ・利用者が安全に移動できるスペースが無く参加できないなら作品の出展だけでも参加する意味があるが、写真撮影などして参加している実感が出るような方向で働きかけても良いと思う。
- ・3月の時点で4月の地域行事の担当を決めておけばいいと思う。

決まった時点で例えば○月は鮫神楽から手紙が来ていたとか○月は公民館で文化祭の誘いがあったと、調べておき、来年度の年間計画に組み込むようにすればいいと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・感染症の状況に応じ、地域でのイベント参加や地域の方を招いた施設内行事等を積極的に開催していく。また、開催の方法は、リモートや短時間の催事など、内容に考慮した内容を検討し、計画を進めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6 年 9 月 25 日 (13:45~14:00)
7. 運営	メンバー 橋本 太田 森山

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	6人	1人	13人

前回の改善計画	
課題: 地域に開かれた福祉施設としてのアプローチの方法や場の検討があまり出来ていない状況にある。地域に向けての事業所からの介護事業所としての啓発活動も必要である。	
計画①: 近隣住民へのアプローチとして、ゴミ拾いや除雪作業などを行ってみる。	
計画②: 地域(商店等)に対して、パンフレットの配布や小規模多機能型居宅介護の案内を配布し、相談がしやすい環境を整えていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ拾いや除雪作業はほとんどできていない現状にある。</li> <li>数か所であるが、パンフレットや小多機の案内を置く事で、新規相談の件数も増えている。</li> </ul>	

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		7	5	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	1		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	2		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	7	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>協力をお願いできる所には声掛けを行なっている。</li> <li>苦情、クレームがあった際には職員内で共有・周知できている。</li> <li>利用者様やご家族からのクレームをすぐに職員間で共有し、全体で対策を考え行動することができている。</li> <li>苦情等あった際は、その都度情報共有し対応している。</li> <li>クレームがあった際は再発防止について話し合うことが出来ている。</li> <li>パンフレットを地域に置くことによって該地区の方からの相談が増えた。</li> <li>苦情や意見はその都度ミーティングで話し合い原因、対策等を共有対応している。</li> <li>近隣道路には融雪剤などを撒いてから帰宅している。</li> <li>パンフレットは、数か所ではあるが置かせて頂いている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>雪かきやゴミ拾いなどは全然できていない。</li> <li>地域の方に対してのかかわり機会がほぼない。</li> <li>計画①は取り組みしやすい内容ではあったが、職員不足もあり対応出来なかった。</li> <li>地域との関りもコロナが終息していない為、どの様なタイミングで再開できるかわからない状況である。</li> <li>宣伝など広報についても活動行っていない</li> <li>パンフレット等は、以前から出来ていたが、ゴミ拾い等は出来ていない状況である。</li> </ul>	

【なぜ? どうして? できていないのか? (その理由)】

- ・日常業務をこなすのに精一杯で、それ以外のことに手が回らない状況。
- ・外部へ発信するがない。地域の方々とかかわる行事や交流の場がないため
- ・周辺まで行う為の人材を割けない。
- ・パンフレット・ポスターを必要な家族の目につくような場所に貼る。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

・事業所として誠実にサービス提供するマンパワーが不足している。社会福祉従事者として必要な倫理観について、利用者および家族への態度や姿勢を見直し、相手の立場に立った言動、行動を行っていく。内容として、定期的な接遇に関する研修の開催、日々のミーティングでの対応事例に関する振り返りを行い、対応の経験を各職員が体感できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6 年 9 月 26 日 (13:45~14:00)
------------------	-----------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー 森越 橋本 田畑 島脇 森山
-----------------	---------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	10人	1人	2人	13人

前回の改善計画	課題: ジョブメドレー(ウェブ研修)が主な研修の場となり、簡単に動画を視聴しながら勉強できる体制になつたが、質の向上に繋がるような意見を述べる場が減っている。 計画①: 外部研修に参加したスタッフは、職員周知の為に、内部研修を計画・実践していく。また、研修動画で参考になった物に関しては、業務への取入れが可能かを踏まえ、会議にて検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修に参加した職員から、職員会議やミーティングを活用し簡単に研修内容の説明や業務への取り入れを行うことが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	9		2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		6	5	2	13
③	地域連絡会に参加していますか		6	3	4	13
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		9	2	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識を得る事ができたような気がする。</li> <li>・職場内の研修に取り組む事ができている。</li> <li>・ジョブメドレーで学んだことはケアに活かせている。</li> <li>・外部研修の情報は、職員会議や書面等で個人でも確認できるようになっており、日々の業務への取入れも出来ていると思う。</li> <li>・外部研修を受けた際は職員会議やミーティングで共有している。</li> <li>・研修はジョブメドレーや参加したい研修は個々で参加しスキルアップできている。</li> <li>・外部研修に参加した職員は資料を配布したり、職員会議等で研修内容を話す機会は設けていると思う。</li> <li>・外部研修に参加した職員は使用配布し、内部研修を行い他職員に周知する事ができている。</li> <li>・外部研修に参加した職員から研修内容を簡略的にではあるが、職員会議等を利用し情報共有出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度見聞きしただけでは、習得出来ない。</li> <li>・外部の研修を受ける事ができない。</li> <li>・地域連絡会などで認知症の方を地域で守ること等の研修会を行うのはどうか。</li> <li>・研修についての感想などの発信はしていない。</li> <li>・資料配布はあるが、質問等の時間をとっている時間が無い為、意見交換は出来ていないと思う。</li> </ul>	

【なぜ? どうして? できていないのか? (その理由)】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務で満足しており、外部研修の必要性を感じていない為。</li> <li>・研修を受ける機会がないため</li> </ul>	

・資料は各自で目を通し、時間をとるのなら意見交流の場として取った方が良いと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・年間を通して、全職員が主体となり内部研修を行いおりあいでの質の向上を行う。一人一人が学び伝える事で、意識し自己啓発に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 9月 28日 (13:45~14:00)
------------------	--------------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー 森山 泉山 向井 谷川 島脇
--------------	---------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	3人	人	13人

前回の改善計画	課題: 夜勤中など、何度も伝えても理解が難しい方に対し、声が大きくなってしまったりしてしまう。また、認知症の方と接する際、感情がうまくコントロールできず、表情や言動に出てしまうこともある。 計画① ケア中の不安や悩みをミーティングや会議で話し合い、他職員の対応を共有すること、ケア内容を統一することで、ストレスの軽減、自身でセルフコントロールできるように配慮していく。 補足として、研修会等を通して、コミュニケーション、ストレスマネジメント、セルフコントロールに関して等の理解を深めていく。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティング活用し職員間で話し合いを行えている。ケア内容、対応方法等共有出来ており、不安軽減出来ている。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	7	6			13
③	プライバシーが守られている	6	5	2		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している		8	2	2	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>不安なことがあった場合は、相談して解決するようにしている。</li> <li>身体拘束、虐待は行われていない。</li> <li>プライバシーに配慮したケアを行えている。</li> <li>ケア全体で気づいた事は職員会議の議題に挙げ問題解決、ケアの方向性を決めることができている。</li> <li>身体拘束、虐待はしていない。</li> <li>身体拘束プライバシー個人情報の管理は守られている。</li> <li>本人の状況に合わせて声掛けするようにし、陣で対応できないと思った時には周りの職員へ交替してもらうようにしていた。</li> <li>他者に相談したり、職員会議では事例検討として行った。</li> <li>ミーティング以外でも普段の職員同士の会話などから情報を共有する事が出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談し決定した事が、統一されていない場合がある。</li> <li>職員間で利用者様の申し送りを行う際、寝せる、しゃべっていた等の尊厳に欠ける発言をしていました。</li> <li>認知症の方へが理解できる話し方・配慮に欠けていた。(車椅子のフットレストに足載せて頂く際に足上げ下さいのみの伝え方等)</li> <li>ケア中の不安や悩みに関しての話は耳にする事はあるが、会議やミーティングの場ではなく休憩等で個々</li> </ul>	

での相談となってしまっている事の方が多く感じられる。

・プライバシーの範囲を理解していないのか個人差があるのか、排泄について他利用者にも聞こえる状況が見受けられる。

・事故回避を予測しての声掛けなどで虐待となり得る場面がある。

・感情コントロールが出来ないと思ったタイミングですぐに代われるかはわからない為その時の対応をきちんとと考えたいと思った。

・周りにも聞こえる声での排泄内容の確認は良くないと思った。

・つい、声が大きくなってしまったり、表情や態度に出てしまう事はいまだにある為。

#### 【なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）】

・普段から利用者様への敬意や配慮に欠けている為

・自分本位の話し方で相手の状況、状態を考えた伝え方が出来ていない為。無意識に自分本位、自己都合によるケアになっている為、相手の目線に立って話すことができない。

・不安や悩みを発信しやすい環境、態度が重要かと。

・プライバシーの範囲、虐待の範囲を再度見直す必要がある。

・注意しにくい環境、誰が言ったのか等話しているのを聞けば言えない現状が生まれる。

・自分で何とかしようとすればするほど感情コントロールは上手く行かないで交替するようにしていきた  
い。

・記載での情報交換など周りの人も不快になるような情報共有の仕方はしないようにする。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・虐待防止、身体拘束適正化委員会や研修（3ヶ月に1回）を通して意識向上を行う。職員間でグレーとさ  
れている不適切ケアを再度見直す事、日々のケアに疑問を感じた場合に注意しあえるような環境を整えてい  
く。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 同 伸 会	代表者	岩渕 惣二	法人・ 事業所 の特徴	'すべては地域のために'を理念とし、地域の在宅生活の充実を図るため、本体の特養ホーム等をはじめ、地域にサテライトデイ、小規模多機能サービス等市内東側エリアを中心に展開している。地域とともに「開かれた求められる事業所」を理念に掲げ、運営している。				
事業所名	小規模多機能ホーム おりあい	管理者	森越 和幸						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価の実践を通して、個別評価の取り組みから事業所評価作成までのプロセスをより具現化し説明を行っていきます。職員の個別評価から話し合いによる評価作成までの実践経過について、より透明性を高めて行きたいと思います。	・令和6年度では異動職員が3名となり、初めてサービス評価に取り組む状況の職員もいることで、資料の確認から、設問の意図説明など、より詳細な情報をお度職員全体で共有し、取り組むことが出来ました。	・出来ている評価も多く、改善が進んでいる印象を受けます。ただ、どうしても個人差はあるようですが、根気強く、粘り強く取り組まれることを期待しています。	・事業所自己評価を行うことでの日々の支援を振り返り、改善に向けた取り組み指標となることを事業所全体で理解を深めること、そのために、サービス評価に関しての説明機会を9月段階で開催し、取り組みがよりスムーズに進行できるように実践していきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・日々の支援場面、住環境にて、居心地が良いと思ってもらえるよう、定期的な清掃や安心してもらえるような配慮(物品管理、人的関り方法等)清潔、丁寧な環境を整えていきます。	・介護職員が不足している中ではあります、職員同士で、空き時間を共有し、「この時間に変更し、掃除ができる等」意見交換を行いながら、清潔な環境が保たれるよう取り組みすることができました。	・いつも伺いしても清潔感のある施設環境であると拝見しています。 ・数多く訪問しているわけではありませんが、内装は明るい模様で好印象です。	・5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・美)を実践し、利用者や面会者、相談者が気持ちよく施設利用できるように取り組みます。尚、1か月に1回実践の経過を会議で確認し、適時改善方法を検討していきます。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の方々に小規模多機能型居宅介護を知つてもらえるよう、商店街へのパンフレット配布や回覧板での周知活動を行っていきます。	・地区のお店にパンフレットを置かせていただくという取り組みは少しずつですが、店舗を増やしている状況にあります。以前、委員の皆様から教えていただいた、社会資源マップを参考に、今後も鮫地区にこのような介護保険サービスがあることを覚えていただくための行動を計画的に行っていきたいと思います。	・会議の際には職員の方から気持ちよく声をかけていただいていると思います。民生委員をはじめ、地域の方々とお話しする機会がありますが、「おりあい」の認知度は高いと感じます。飲食店にもおりあいのパンフレットが置かれているのを見たことがあります。職員を派遣できなくとも、周知という形で地域とかかわっていくことは出来ると思います。 ・いつも明るく挨拶してもらいありがとうございます。また、公民館の文化祭にも出展していただき、御礼申し上げます。	・地域の行事やイベントへの参加では、参加ができるように計画を進めています。その内容として、感染症の課題は重要であることを踏まえ、日々の感染予防対策、具体的な行事計画を踏まえ行事参加を実施するように取り組みます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	様々な世帯構成になっている現状があります。可能な限り、地域での暮らしを意識して関わる繋ぎ支援(事業所から近隣住民の皆様への声掛け、民生委員等への情報共有)を図っていくよう	・事業所利用登録者(独居や浪々世帯)の担当民生委員の方々と情報共有や、変化があった場合の連絡などを取ることが出来ているケースも増加しています。また、近隣で心配な方というよりも	・鮫地区でも民生委員が自宅に出向いて、来てほしくないという方もいる。地域の人に知られたくない、他の地区的施設を使いたいという人も少なくない。難しいですね。	・感染症対策に十分に留意した上で、利用者に馴染みのある場所や店での買い物、受診、床屋等々に職員が付き添うことで、暮らしぶりの理解を行い、地域での暮らしを支えていくよう取り組み

	にしていきます。	は、近隣の方にも、何か心配事があれば、連絡してほしいですという姿勢で声掛けはさせてもらっています。今後も、協力という視点で関わりを継続できればと思います。		を行います。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・小規模多機能型居宅介護での支援事例や、地域における介護課題を共有、把握していくよう取り組んで行きます。	・民生委員の方々や、高齢者支援センター、地域の関係機関との連携方法など、まだ不十分な点は多くあります。委員の皆さんからの意見を踏まえ、本来業務との兼ね合い、調整を行いながら一步ずつではありますが、地域の介護課題に関わっていく必要があると思います。	・同じことの繰り返しではなく、新しい視点、サービスも教えてもらい、ありがとうございます。	・運営推進会議で頂いたご意見等は、今後も事業所の運営に取り入れ、質の確保、新たな取り組みに繋げていくよう実践していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業継続計画の訓練、シミュレーションを踏まえ、皆様への報告を行っていきます。その中で発生した課題は、事業所単体で対応を考えるのではなく、委員の皆様の意見、法人本部等の意見も踏まえ、改善していくよう取り組みを行っていきます。	・事業継続計画（災害、感染症）では、机上、実地訓練を踏まえ、取り組みを行っている段階です。まだ地域の防災訓練などは見学しか出来ていない環境下にあるため、今後、地域防災訓練等への参加、防災対策の知識を深めていく情報収集を行なながら、実際の訓練に役立てていくように取り組みを行う必要があります。	・防災の地域説明会を行っていますが、施設の人には声がかからないと思います。災害時はどのような協力関係が出来るか難しいです。自分が被災者の可能性もありますので。民生委員の助けを求める事ができないかもしれません。今、地域の防災対策として線路から下にいる人たちには、車を使わずに避難して下さるよう検討している所です。車で渋滞して避難が遅れ、災害に巻き込まれる可能性があるからです。いい協力関係を作れるといいですね。	・火災、水害など多様な災害に対し、総合防災訓練や机上訓練等を定期的に実施することで、経験値を積み、課題の整理、動きの確認を進めていきます。また、地域で行われている防災訓練への参加や災害に関する発信情報を確認し、職員間で情報共有できるよう取り組みます。